

# OGIKUBO-2031

From  
2021

わたなべ友貴  
区政レポート

荻窪駅周辺  
まちづくり編

令和3年 春号

杉並区議会自由民主党

荻窪地域選出

杉並区議会議員

ともき

## わたなべ友貴

防災士

荻窪をさらに

魅力あふれる

まちにしたい！

荻窪駅周辺まちづくりが掲げられた  
区の最上位計画である現基本構想は、  
令和3年度末をもって、10年の終期を迎えます。

### 荻窪駅周辺

### まちづくりを前へ！

①南北分断の解消

②都市機能のさらなる強化を図る

民間事業者が住民の悩みや

意見に寄り添うことがなく、

コストパフォーマンスのみを

考えているような状況では

荻窪駅周辺のまちづくりは

一向に進展することはありません。

基本構想は、10年後の杉並区の

目指すべき姿への羅針盤です。

達成出来なかったものは、引き続き

区の重点施策であるべきです！



平成24年から始まった区の最上位計画である現基本構想は、令和3年度末をもって、10年の終期を迎えます。現基本構想では、目標のひとつである『暮らしやすく快適で魅力あるまち』を達成するための重点的取り組みとして、『荻窪駅周辺まちづくり』が掲げられました。

区内に18の駅がある中で、荻窪駅周辺が重点的な取り組みとして取り上げられたことに、地元の方々は、荻窪駅周辺のまちづくりが大きく前進することを大いに期待をした、と聞いています。

現基本構想では、戦略的・重点的な取り組みとして、荻窪駅周辺地区について、

- ①南北分断の解消
  - ②都市機能のさらなる強化を図る、
- という2点が具体的に示されています。

では、果たして平成24年から令和2年現在までの9年間で、先に述べた2点の重点的な取り組みについて、どれほどの進捗があったのでしょうか。

『荻窪駅周辺のまちづくり』の進捗状況について、区の認識について質問しました。

**区の方針**

**Answer** 平成29年に策定した「荻窪駅周辺まちづくり方針」、これを具体化するため、平成31年に策定した「荻窪駅周辺都市交通戦略」により、令和元年度に東京都や交通事業者を巻き込んで北口駅前広場にミスト装置を整備した。さらに、駅周辺の回遊性向上アクションプランとして令和2年3月に「荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案」を策定し、荻外荘公園の整備と併せて、歴史的・文化的資源を生かしたまちづくりを進めている。駅周辺の基盤整備については、まちづくり方針に基づき、駅前大規模商業施設の機能更新などの機会を捉えて行うべく、関係者との意見交換を継続しながら中長期的に検討を進める。

**【基本構想】**  
 区民と区が共有する10年後の杉並区の将来像（10年ビジョン）

**【総合計画】**  
 基本構想実現の具体的な道筋となる（10年ビジョン）

**【戦略的・重点的な取り組み】**  
 ◎荻窪駅周辺まちづくりと多心型まちづくり  
 区内最大の交通結節点である荻窪駅周辺については、南北分断の解消と都市機能のさらなる強化を図ることにより、杉並の「顔」としてのまちづくりを積極的に推進します。

総合交通戦略は概ね20年後の未来を視野に入れた計画です。9年前の基本構想策定時に荻窪駅周辺のまちづくりの推進に胸を躍らせた皆さんの中には、

「何だ、あと20年待たされるのか・・・」と愕然としている方も少なくありません。

また、交通事業者を巻き込んで具体化できたものが、駅前広場のミスト装置だけというのも悲しい限りです。荻窪駅周辺まちづくりを進めるためには、民間事業者の中心的存在である鉄道事業者との連携が必須です。率直に、私はこれまで鉄道事業者が荻窪のまちづくりに協力的であったとは言い難いと思います。

一例を挙げれば、荻窪駅東口改札前地下通路の深夜通行の問題です。



お体の不自由な方の深夜往來の不便さや、防災上の重要性など、同箇所の深夜通行の必要性は疑いようがありません。



しかし、改善の兆しは一向に見えません。

以前の区の方針では、『見込まれる通行量、費用面、防犯面など、問題が多い』とのことでした。要するに、コスパが悪い、ということです。あくまでも民間事業者ですから、自社鉄道利用者と自社利益のこののみを考えればいいと言われればそれまでです。

しかし、民間事業者が住民の悩みや意見に寄り添うことがなく、コストパフォーマンスのみを考えているような状況では荻窪駅周辺のまちづくりは一向に進展することはありません。

この9年間で、荻窪というまちはどのように変わったのでしょうか。商業の集積する荻窪駅北側、素敵な商店街や住宅街の広がる天沼地域、文化的資源や緑が豊かな荻窪駅南側。これらの特徴を個別に見れば、杉並区の取り組みによりこの9年間で間違いなく魅力が向上したと思います。

しかし、荻窪のまち全体としての変化は感じられません。

その最たるものが、基本構想の重点的な取り組みであり、地域住民の念願でもある**南北分断の解消**です。現状、およそ達成の糸口すら見えないままです。

現基本構想も、残すところ後一年となりました。

基本構想は、10年後の杉並区を目指すべき姿への羅針盤です。達成出来なかったものは、引き続き区の重点施策であるべきです！

そこで、現基本構想が終期を迎えた後の「荻窪駅周辺まちづくり」について、質問をしました。

**区の方針** 令和4年度から始まる新基本構想を踏まえつつ、まちづくり方針の中にある将来像「住宅都市杉並の芯として、歴史文化を礎に、にぎわいと住環境が調和したまち」を目指し、地域の方々、交通事業者、関係機関などと連携し、課題可決に取り組みすることで、区内最大の交通結節点である荻窪駅周辺のまちづくりを推進していく。

引き続き、地域の皆さまとともに荻窪駅周辺まちづくりが推進していくよう、全力で取り組んでまいります。

杉並区議会議員

**わたなべ友貴 事務所**

〒167-0051 杉並区荻窪 5-18-11-202  
 電話 080-1054-1956 FAX 03-4243-3020  
 tomoki.suginami@gmail.com  
 URL: <http://tomoki-suginami.com>

皆さまのご意見をお寄せ下さい。



わたなべ友貴



プロフィール

- ・1984年9月25日生まれ(36歳)
- ・ねずみ年・てんびん座・A型
- ・法政一高・法政大学法学部卒・法政大学法科大学院修了(法政に10年)
- ・東京都議会議員 早坂よしひろの秘書を7年間務める
- ・防災士・宅地建物取引士
- ・趣味: 東京マラソン2019完走ピアノ・洗濯・プロレス観戦

